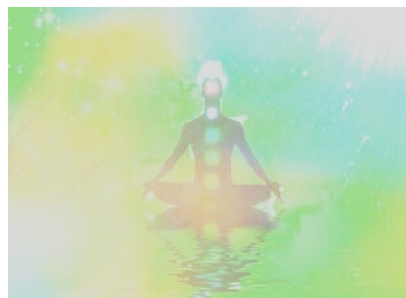


【14:00~15:15】

ナーダヨーガの思想を取り入れた、からだと声のワーク。会陰部から頭頂部にかけてある7つのエネルギーセンターであるチャクラにアプローチしてゆきながら、体の中心を駆けぬけてゆくような深い呼吸と声の体験。無理のない今の自分の声で、ゆっくり体験します。からだがふっと軽く、視界が軽くなり、今まで体の中にエネルギーが滞っていたのだと気づかされる瞬間が訪れます。とても気持ちいいです。



ファシリテーター ♪ Shree
北インド古楽ドゥルパド声楽・魂のうた

1987年、初めてのインド旅行。以来四半世紀間最も多くの時間をインドで過ごす。主に北インドの聖地ヴァラナシで、サントウル・タブラ・パカーワジ・声楽等の北インド古典音楽を習う。インド各地でサンスクリット語、ハタ・ヨーガ、ヴェーダーンタ思想にも親しむ。1992年より北インドの古楽であるドゥルパド声楽を、ベナレス・ヒンドゥー大学のリトウィック・サンニャル教授より師事。声楽の第一の師として現在にいたるまで指導を受けている。1997年、天空オーケストラのイギリスツアーにヴォーカリストとして参加。近年はドゥルパド界ダーガル流派の声楽の巨匠ウスタッド・ジア・ファリドウッドィーン・ダーガル、その甥のルドラ・ヴィーナーの演奏家ウスタッド・モヒ・バハウッディーン・ダーガル、グンデーチャ・ブラザーズの指導も時々仰ぐ。2008年2月、智慧の道のグル・ミュージより「Shree」と言うサンスクリット名を授かる。南インドの瞑想の聖地ティルヴァンナーマライに暫く住む。毎年数ヶ月日本やアジアの国々を訪れ、ドゥルパド声楽ライブとヴォイス・ワークショップのツアーを行う。

【15:30-16:30】

うおあえい、ん、などの母音をつかったオーバートーン（倍音）を声を出してゆく体験。チベットのホーメイよりも喉に力が入らない自然な状態で出す精神性の高い、発声法です。声の振動が体へと伝わり、他者へと共鳴していく広がりがとても素晴らしい体験となるようで、とても楽しみです。声をだしている、軽やかに体も動かしたくなる、楽しい感覚もあります。



ファシリテーター ♪ Nori
尺八・バーンスリー・ハーブ・倍音唱法

北インドの竹の笛バーンスリー及び尺八製作、演奏。1952年東京生まれ。19歳のころから世界中を旅する。竹の笛を愛し、Nori Venugopalの名で北インドの竹の笛バーンスリーを製作。ドイツに暮らした80年代前半、はじめて日本の古典文化の素晴らしさを発見。尺八を手にし、日本を訪れては、西村虚空などのマスターを訪ね歩く。この頃、日本で掘り集めた竹での尺八製作が、Noriの笛作りの原点となる。また、小浜の仏国寺の摂心に参加するなど、禅文化にも目覚める。ドイツでは、ミヒヤエル・フェッターにオーヴァートーン・チャンティング（倍音唱法）を師事。レインボー・ギャザリングなどでワークショップをしたり、舞踏ダンサーとコラボレーションなど、ドイツの内外でパーフォーミング・アートを行う。

◆会場：鞠テニスセンター【第2スタジオ】大阪市西区鞠本町2丁目1-14 最寄駅：地下鉄中央線・四つ橋線「本町駅」28番出口

◆お申込み：mail (ultrapj@hotmail.co.jp)、またはHPの問い合わせフォームから。

※タイトルに「声のWS②月の声参加申込み」と入れてください。

本文には、①氏名、②連絡先 mail をご記入ください。後程詳細のご連絡をさせていただきます。

※エラーとなりメールが返ってくる場合があります。その場合は恐れ入りますが、HPの問合せフォームからご連絡をお願いいたします。

◆持ち物：

- ①動きやすいゆったりリラックスできる服。（着替えをご持参して頂いてもOK）
- ②座った時に下に敷く座布団またはバスタオル。（足が楽です。）
- ③常温の飲み物（声を出すため、喉をいためたり冷やさないよう）

